

ベトナムと九州、再エネ・半導体・人材で連携強化へ

2025 年 3 月 18 日 作成

カテゴリ ベトナム人材 高度人材・エンジニア

ベトナムと九州、再エネ・半導体・人材で連携強化へ

ベトナムのブイ・タイン・ソン副首相兼外相は 3 月 5 日、日本の九州経済連合会の倉富純男会長と会談した。会談でブイ副首相は、ベトナム政府として九州地域との経済連携をさらに推進し、特に再生可能エネルギー、科学技術、インフラ整備、デジタル変革、グリーン変革、環境保護、気候変動対策などの分野での協力強化を求めた。また、九州地域でのベトナム人労働者の受け入れ拡大や半導体およびデジタル分野を中心とした人材育成への協力を希望し、両国の大学間での教育協力にも支援を惜しまない姿勢を示した。

倉富会長は、今回が九経連にとって 8 回目の訪越であり、ホーチミン市やハノイを中心にベトナムの各地域との経済関係や民間交流を促進する多くの活動を行っていることを説明した。さらに半導体分野での人材育成に関する協力機会について調査していることも明らかにした。

JETRO（日本貿易振興機構）の 2025 年の調査によると、今後ベトナムへの投資・ビジネスを拡大したい日本企業は約 60%と ASEAN 各国の中で最も高い数値を示した。日本は現在もベトナムにとって ODA 供与、労働協力で第 1 位、外国投資で第 3 位、貿易および観光分野で第 4 位の重要なパートナーとなっている。

以上